

# 間取り図記号合わせクイズ パート1

※記号名と記号を線で合わせましょう！

## 平面図

引き違い窓	•	
片引き窓	•	
片開き窓	•	
装飾窓 (FIX)	•	
装飾窓 (その他)	•	
縦すべり窓	•	
面格子付窓	•	
シャッター	•	
雨戸	•	
片開き戸	•	
両開き戸	•	
親子扉	•	
引き違い戸	•	
片引き戸	•	
引き込み戸	•	
アコーディオンカーテン	•	
折戸	•	
2枚折戸	•	

## 立面図

引き違い窓	•	
片引き窓	•	
片開き窓 (ドア)	•	
はめ殺し窓 (FIX窓)	•	
上げ下げ窓	•	
縦すべり窓	•	
横すべり窓	•	
内倒し窓	•	
外倒し窓	•	
平行突出し窓	•	
オーニング窓	•	
面格子窓	•	
シャッター	•	
雨戸	•	

## 断面図

Ground Line	•	CH
Floor Line	•	軒高
軒高	•	GL
Ceiling Height	•	隣地境界線
北側斜線	•	道路境界線
道路斜線	•	FL
隣地境界線	•	道路斜線
道路境界線	•	道路中心線
道路中心線	•	北側斜線

## 配置図

主要な出入口	•	±0
ベンチマーク	•	▽
雨水樹	•	⊗
汚水樹	•	⊗
レベル	•	BM

## 部屋の広さ 計算方法

帖 (畳)	•	坪
m <sup>2</sup>	•	帖 → m <sup>2</sup>
坪	•	帖 (畳)
m <sup>2</sup> → 帖	•	帖 → 坪
m <sup>2</sup> → 坪	•	一寸
帖 → m <sup>2</sup>	•	m <sup>2</sup> → 坪
坪 → m <sup>2</sup>	•	m <sup>2</sup>
坪 → 帖	•	一間
帖 → 坪	•	一尺
一寸	•	m <sup>2</sup> → 帖
一尺	•	坪 → 帖
一間	•	坪 → m <sup>2</sup>

## 部屋名・スペース名

マスターベッドルーム	•	UB
ベッドルーム	•	SR(N)
サービスルーム (納戸)	•	SIC
ユニットバス	•	MBR
ウォークインクローゼット	•	RF
シューズインクローゼット	•	LDK
ルーフバルコニー	•	BR
ロフト	•	PS
パイプスペース	•	WIC
リビングダイニングキッチン	•	RBL

## 電気記号

スイッチ	•	•	
3路スイッチ	•	•	
コンセント	•	•	
アース付きコンセント	•	•	
防水コンセント	•	•	
TVコンセント	•	•	
インターホン	•	•	
電話	•	•	
エアコンコンセント	•	•	
シーリング	•	•	
ダウンライト	•	•	
ブラケット	•	•	
蛍光灯	•	•	
換気扇 (天井)	•	•	
換気扇 (壁)	•	•	
給気口	•	•	
24時間換気	•	•	
分電盤	•	•	

# 間取り図記号合わせクイズ パート2

※記号名と解説を線で合わせましょう！

## 平面図

引き違い窓	●	●	片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合に用いられる窓です。片方の窓のみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。
片引き窓	●	●	採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓の事です。デザインや大きさはある程度自由に設計の自由度があります。上下方向、横方向、両側、外側、ルーバー窓、半固定窓、オーニング窓、様々な開閉があります。
片開き窓	●	●	左右どちらか一方に開閉するタイプの戸。横滑りのついているほうを吊り元といいます。
装飾窓 (FIX)	●	●	窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の窓や外に面した廊下などに、防犯のために取り付けられる事が多いようです。
装飾窓 (その他)	●	●	左右 2 枚の戸が開閉するタイプの戸。人の出入りが多いことや、大きな荷物の出入れが必要な場所に設けられます。
縦すべり窓	●	●	戸をスライドさせて壁の中に引き込みタイプの戸。開閉するためのスペースは少なくすみますが、引き違いのための場所が必要で、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。
面格子付窓	●	●	左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。
シャッター	●	●	左右 2 枚の戸をスライドして開閉する戸。押し入れの戸などに見られ、3 枚や 4 枚の戸で構成する場合もあります。
雨戸	●	●	美観のアーコーディオンのように伸縮しながら開閉するカーテン状の建具。
片開き戸	●	●	左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。
両開き戸	●	●	一枚の引き戸を、滑り車の上に滑らせて開閉する戸。開けたときに扉が邪魔にならない。すっきりとした印象を与えてくれます。玄関や廊下の出入口の戸などに使われています。
親子扉	●	●	窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。
引き違い戸	●	●	採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で飾り窓的な要素もあります。
片引き戸	●	●	開いたときに折りたためるタイプの戸で、2 方向に開くが 2 枚だけあります。カーペットなどによく使われます。
引き込み戸	●	●	防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、緑樹・窓などの外側に取付け可能。
アーコーディオンカーテン	●	●	開いたときに折りたためるタイプの戸。開くためのスペースがあまりない場所 (浴室) などに用いられます。
折戸	●	●	幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。
2 枚折戸	●	●	2 枚のドア幅が小さい異なる両開きドア。日常時はドアをロックしておき、親アプのみを開閉して片開きドアのように開閉するのですが、大きな荷物の出入れが必要な際はドアも開けて利用することができます。

## 立面図

引き違い窓	●	●	採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で飾り窓的な要素もあります。
片引き窓	●	●	ハンドルを押すのが 10cm ほど外側に出る形式。風が直接入らず、換気がスムーズに入ります。
片開き窓 (ドア)	●	●	上下にスライドして開閉する窓。上下 2 枚とも開くダブルハンダを片方だけ開くシングルハンダがある。場所を取らずに採光・通風が確保できる。
はめ殺し窓 (FIX 窓)	●	●	窓の下部を軸として、窓の上部を外側 (室外側) に開けて開けるもの。
上げ下げ窓	●	●	左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。
縦すべり窓	●	●	片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合に用いられる窓です。片方の窓のみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。
横すべり窓	●	●	左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。
内倒し窓	●	●	幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。
外倒し窓	●	●	窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。
平行突出し窓	●	●	複数の小窓を連続し、ハンドル操作で開閉する窓。水平に重ねた複数の細長いガラス板をハンドル操作で開閉する「ルーバー」型と比べて、遮音性や水密性が良いといわれている。
オーニング窓	●	●	窓の下部を軸として、窓の上部を内側 (室内側) に倒して開けるもの。内部への光を遮り、室外側にはみ出さないで、開合う建物との間隔が狭い場所にも取り付け可能。
面格子窓	●	●	防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、緑樹・窓などの外側に取付け可能。
シャッター	●	●	窓を室外側に押し出して開けるタイプの窓。窓枠の左右に溝があるため、すべり出すことができます。窓ガラスが底面のようになるため、雨の日も窓が開けられます。
雨戸	●	●	窓を室外側に押し出して開けるタイプの窓。窓枠の左右に溝があるため、すべり出すことができます。窓ガラスが底面のようになるため、雨の日も窓が開けられます。

## 断面図

Ground Line	●	●	敷地と敷地との境界線のこと。
Floor Line	●	●	北側斜線制限とは、南側にある建物の高さを超えて、北側の敷地の日照や通風を確保するものです。
軒高	●	●	CH=Ceiling Height の略称です。Ceiling とは天井のことで、Height とは高さのことです。CH=2.40m と書いてあれば天井高が 2.4メートルあるという意味です。
Ceiling Height	●	●	FL=Floor Line (フロアライン) の略で、床仕上げの上端面のレベルを指します。1FL=1 階フロアライン、2FL=2 階フロアライン
北側斜線	●	●	走線の位置を定める際の基準となる中心位置のこと。この道路中心線に幅員を割り当てます。道路中心線が現況の道路の幅の中心位置を通るとは限らない。
道路斜線	●	●	敷地と道路の境界線のこと。敷地と道路の境界線の境界を指します。建築基準法では原則、道路の幅員は 4m 時空確保が原則で 6m となっています。幅員が 4m に満たない場合、敷地と道路境界線を寄せる必要があります。
隣地境界線	●	●	道路面の日照などを確保するため、建築高さや、前面道路の反対側斜線境界線を起点とする一定こう距の建築物の建て建てることはできません。
道路境界線	●	●	柱の上部をつなぐために図す木材の厚さ及び、設計上の地盤 (G) から桁の天端までの距離を指す。2 階の桁天端まで、採光の軒高といひ、建築基準法の規制の基準になる。
道路中心線	●	●	GL=Ground Line (地上面) の高さ。又はその高さを表す線のこと。

## 配置図

主要な出入口	●	●	±0、+100 等の表記になります。BM を基準とした敷地のレベルを表します。レベルは 1mm。
ベンチマーク	●	●	敷地を柱からの雨水配水管の接続箇所や配管の合流地点、配水管の崩れや排水配管が変化するところ。道路と敷地との境目付近 (最終排水)、排水設備の維持管理のために設ける標。
雨水樹	●	●	BM=Bench Mark の略で、敷地や建物の高さの基準レベル点を指します。BM は、施工時の基準マークになるので、動かさないものを基準とします。主にマーカーなどがそれにあたります。
汚水樹	●	●	日常的に人が出入りする場所のこと。
レベル	●	●	家庭から出る汚れた水。接続箇所や配水管の合流地点、配水管の崩れや排水配管が変化するところ。道路と敷地との境目付近 (最終排水)、排水設備の維持管理のために設ける標。

## 部屋の広さ 計算方法

帖 (畳)	●	●	一尺=30.3cm (一寸の 10 倍) 三 尺=90.9cm (約 91.0cm→910mm)。一般的な間接照明の住宅の寸法基準。910 モジュールと呼ばれる。 ㎡から帖数を知りたい場合の計算方法。1.65 ㎡÷1.65=1帖 (畳 1 枚分)
坪	●	●	坪 ×2 坪数から帖数を知りたい場合の計算方法。1 坪 ×2=2帖 (畳 2 枚分) 一間=1.8182m (尺の 6 倍) 六尺 畳の長い方の辺の長さ、ふすま 2 枚分の長さ。
帖 → ㎡	●	●	一寸=3.03cm (一尺の 1/10)。 3.03cm×10=30.3cm→一尺
帖 → ㎡	●	●	帖 ÷2 帖数から坪数を知りたい場合の計算方法。2帖 ÷2=1坪 (一般の住宅の U 区、洗面室の広さ)
坪 → ㎡	●	●	㎡ × ㎡で求めた面積の単位。一般的な間接照明の住宅で考えると 1.82m (一間) ×0.91m (半間) =1.65 ㎡ (1帖)、1.82m (一間) ×1.82m (一間) =3.31 ㎡ (1坪) 坪 ×0.3025 坪数から㎡を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 →30.25 坪 ×0.3025=100 ㎡
坪 → 帖	●	●	帖 ×1.65 帖数から㎡を知りたい場合の計算方法。1帖 ×1.65=1.65 ㎡ (1帖は 1.65 ㎡)
帖 → 坪	●	●	1 坪=約 3.31 ㎡ (畳 2 枚分) 一般的な住宅の U 区 (ユニットバス) や洗面室の広さ。
一寸	●	●	㎡ ×0.3025 ㎡から坪数を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 →100 ㎡ ×0.3025=30.25 坪
一尺	●	●	1帖=1.65 ㎡ 畳 1 枚分の広さ。一般的な住宅のトイレやクローゼットの広さ。畳のサイズは縦横、長短、マンションサイズなどがそれぞれ多少異なります。
一間	●	●	㎡ × ㎡で求めた面積の単位。一般的な間接照明の住宅で考えると 1.82m (一間) ×0.91m (半間) =1.65 ㎡ (1帖)、1.82m (一間) ×1.82m (一間) =3.31 ㎡ (1坪) 坪 ×0.3025 坪数から㎡を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 →100 ㎡ ×0.3025=30.25 坪

## 部屋名・スペース名

マスターベッドルーム	●	●	サービスルーム (納戸)。採光・眺望を確保してない部屋。居室として認められていない部屋。多目的ルーム、スバルーム、フリールームなど。
ベッドルーム	●	●	ロフト、屋根裏部屋を表す。天井の高い部屋の中 2 階のようなスペース。
サービスルーム (納戸)	●	●	シューズインクローゼット、玄関にある広い収納で、靴やスキー・ゴルフ用品なども収納できます。
ユニットバス	●	●	マスターベッドルーム、「主寝室」を表します。洋室のうち最も広いものが主寝室と呼ばれます。
ウォークインクローゼット	●	●	リビング (居間)、ダイニング (食事室)、キッチン (台所) の意味で、廊間・倉庫室、台所が一体となった空間。
シューズインクローゼット	●	●	シューズインクローゼット、お風呂に隣接して設けられ、人が歩かざるほどの広さを確保した収納です。
ルーフバルコニー	●	●	ベッドルーム、「洋室」を表します。
ロフト	●	●	部屋の真上にある階下の住戸の屋根部分を利用したバルコニーのこと。
パイプスペース	●	●	ユニットバス。あらかじめ工場で天井や浴槽、壁、床などのパーツを造り出し、それらを組み立てていくバスルームのこと。通常の浴室より施工が早い。
リビングダイニングキッチン	●	●	

## 電気記号

スイッチ	●	●	壁についているコンセントの記号です。数字の「2」は差込み口が 2 つあるコンセントのこと。
3 路スイッチ	●	●	コンセント記号の横の「E」はアース (Earth・接地線) を表しています。
コンセント	●	●	コンセント記号の横に「W」があるときは、防雨防水のコンセントになります。W は water の頭文字。
アース付きコンセント	●	●	シーリングライトを設置できる場所の記号。天井に設置されている。
防水コンセント	●	●	インターホンのある外と、家の中に対応するスイッチがある場所に使う記号。
TV コンセント	●	●	この記号は、蛍光灯がある場所を表しています。天井に設置されています。
インターホン	●	●	3 路スイッチとは、1 つの照明を 2 ヶ所のスイッチで ON/OFF できるスイッチのこと。
電話	●	●	この記号ではブラケットライトのある場所を表しています。ブラケットライトとは、壁に取り付けられている照明のこと。
エアコンコンセント	●	●	室内の壁にある吸気口の記号です。外からの空気が取り入れられます。
シーリング	●	●	テレビ用コンセントの記号。テレビを見るために必要なコンセントです。
ダウンライト	●	●	電話に使うコンセントの場所を表しています。電話の室内配線の参考にするこができます。
ブラケット	●	●	エアコンを設置するとき使用するコンセントの記号。壁の高い場所にあることが多い。
蛍光灯	●	●	家のなかにある分電盤を表す記号です。各部屋へ電気を分配し、使用量や電圧の管理をします。
換気扇 (天井)	●	●	部屋の電気がなく、壁に付いているパチッと押すタイプのスイッチの記号。
換気扇 (壁)	●	●	24 時間換気する吸気口を表す記号です。外気を室内に取り入れます。
給気口	●	●	壁に設置されている換気扇を表しています。居室には、換気設備を設置する必要があります。
24 時間換気	●	●	ダウンライトを表す記号。ダウンライトとは、天井に埋め込まれている小型の照明のこと。
分電盤	●	●	天井に設置されている換気扇のある場所を表しています。キッチンやお風呂場、トイレなどに設置されます。



# 間取職工所

# 間取り図記号合わせクイズ パート 3

※記号と解説を線で合わせましょう！

## 平面図

- 片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合用いられる窓です。片方の窓のみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。
- 左右どちらか一方に開閉するタイプの戸。縦着のついているほうを吊り元といいます。
- 採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で取り易い要素もありません。
- 窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の窓や外に面した廊下などに、防犯のために取り付けられる事が多いようです。
- 扉を、眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓の扉です。デザインや大きさはある程度自由で取り易い要素もありません。上げ下げ窓、横引き窓、押込み窓、外引き窓、ルーバー窓、平引き出し窓、オーニング窓、様々な種類があります。
- 戸をスライドさせて壁の中に引き込みタイプの戸。開閉するためのスペースは少なくてもありますが、引き込むための場所が必要となります。
- 左右 2 枚の戸が開閉するタイプの戸。人の出入りが多いところや、大きな荷物の出し入れが必要な場所に設けられます。
- 左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する。左右どちら側も開く事ができ、採光・採光にも有効です。
- 左右 2 枚の戸をスライドして開閉する戸。押し入れなどの戸にも見られ、3 枚や 4 枚の戸で構成する場合もあります。
- 左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。
- 楽器のアコーディオンのように伸縮しながら開閉するカーテン状の家具。
- 窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。
- 一枚の引き戸を、滑りレールの上で滑らせて開閉する戸。開けたと同時に扉が閉鎖になります。すきりとの印象を与えてくれます。玄関や室内の出入りの戸などに使われています。
- 幅の小さい金属板をすだれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。
- 防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、緑樹・窓などの外側に取り付けられる。
- 2 枚のドア幅が大小異なる両開きドア。自動開閉タイプはエレベーターに付き、観音の扉を開閉して片開きドア的に使用するのが、大きな荷物の出し入れが容易な観音子ドアも開けて利用することがあります。
- 開いたときに折りたためるタイプの戸で、2 方向に開くが 2 枚付いています。クローゼットなどによく使われます。
- 開いたときに折りたためるタイプの戸。開くためのスペースがあまりない場所 (浴室) などに用いられます。

## 立面図

- 窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。
- 左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。
- 窓の下部を軸として、窓の上部を内側 (室内側) に倒して開けるもの。内側への開閉し、窓枠にはみ出さないで、建物の外観との調和が取り易い場所にも取り付け可能です。
- 窓の下部を軸として、窓の上部を外側 (室外側) に倒して開けるもの。
- 扉を、眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓の扉です。デザインや大きさはある程度自由で取り易い要素もありません。
- 防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、緑樹・窓などの外側に取り付けられる。
- 片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合用いられる窓です。片方の窓のみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。
- 上下にスライドして開閉する窓。上下 2 枚とも開くダブルハンタと片方だけ開くシングルハンタがある。場所を空気に採光・通風が確保できる。
- 幅の小さい金属板をすだれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。
- 窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の窓や外に面した廊下などに、防犯のために取り付けられる事が多いようです。
- 複数の小窓を連続し、ハンド小操作で開閉する窓。水平に重ねた複数の細長いガラス板をハンド小操作で開閉する「ルーバー窓」と比べて、遮音性や水密性が良いといわれています。
- ハンドルを押すと窓が 10cm ほど外側に形成し、風が直接入らず、換気がスムーズに行える。
- 左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する。左右どちら側も開く事ができ、採光・採光にも有効です。
- 窓を外側に押し出して開けるタイプの窓。窓枠の左右に溝があるので、すべり出すことができます。窓ガラスが応のようになるため、雨の日も窓が開けられます。
- 採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で取り易い要素もありません。

## 断面図

- 柱の上部をつなぐために固す木材を用い、設計上の地盤 (GL) から桁の天端までの距離を軒高という。2 階の桁天端までを、採光の軒高といい、建築基準法の用語の基準になる。
- GL=Ground Line (地上面) の高さ。又はその高さを表す線のことで、
- CH=Ceiling Height の略称です。Ceiling とは天井のことで、Height とは高さのことです。CH=2400mm であり、天井高さは 2.4メートルあるといわれています。
- 道路の位置を定める際の基となる中心位置のこと。この道路中心線に幅員を割り出します。道路中心線が現況の道路の幅の中心位置を通るとは限りません。
- 敷地と道路の境界線のこと。敷地と道路の境界線を示しています。建築基準法では原則、道路の幅員は 4m 未満の場合、敷地と道路の境界線を寄せる必要があります。
- FL=Floor Line (フロアライン) の略で、床仕上げの上端のレベルを指します。FL=1 階フロアライン、2FL=2 階フロアライン
- 道路面の日照などを確保するため、建築物の高さを、前面道路の反対側境界線を起算する一定寸法 (道路境界線) との距離が確保は出ている。建築物を建てるとはなりません。
- 北側斜線制限とは、南側にある建築物の高さを制限して、北側の敷地の日照や通風を確保するものです。
- 敷地と敷地との境界線のこと。
- 家畜から出る汚れた水。接続箇所や配水管の合流地点。配水管の曲がりや排水配管が異なること、道路と敷地との境界付近 (最終排水) に、排水設備の維持管理のために設ける構。
- 壁線から雨水配水管の接続箇所 (雨水の合流地点)。配水管の曲がりや排水配管が異なること、道路と敷地との境界付近 (最終排水) に、排水設備の維持管理のために設ける構。
- BM=Bench Mark の略で、敷地や建築物の高さの基準レベルを指します。BM は、施工時の基準マークになるので、動かさないものを基準とします。主にマレットなどそれにあたります。
- ±0、+100 等の表記になります。BM を基準とした敷地のレベルを表します。レベル 1=1mm。
- 日常的に人が出入りする場所のこと。

## 部屋の広さ 計算方法

帖 (畳) ・

- m<sup>2</sup>
- 坪
- m<sup>2</sup> → 帖
- m<sup>2</sup> → 坪
- 帖 → m<sup>2</sup>
- 坪 → m<sup>2</sup>
- 坪 → 帖
- 帖 → 坪
- 一寸
- 一尺
- 一間

㎡ × 0.3025  
㎡ から坪数を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 → 100 ㎡ × 0.3025 = 30.25 坪

坪 × 2  
坪数から帖数を知りたい場合の計算方法。1 坪 × 2 = 2 帖 (畳 2 枚分)

帖 × 1.65  
帖数から m<sup>2</sup> を知りたい場合の計算方法。1 帖 × 1.65 = 1.65 m<sup>2</sup> (1 帖は 1.65 m<sup>2</sup>)

一間 → 1.8182m (尺の 6 倍) 六尺  
畳の長い方の長さ、つまり 2 枚分の長さ。

m<sup>2</sup> ÷ 1.65  
m<sup>2</sup> から帖数を知りたい場合の計算方法。1.65 m<sup>2</sup> ÷ 1.65 = 1 帖 (畳 1 枚分)

m × m で求めた面積の単位。  
一般的な間取りの住宅で考えると 1.82m (一間) × 0.91m (半間) = 1.65 m<sup>2</sup> (1 帖) 1.82m (一間) × 1.82m (一間) = 3.31 m<sup>2</sup> (2 帖)

帖 ÷ 2  
帖数から坪数を知りたい場合の計算方法。2 帖 ÷ 2 = 1 坪 (一般的な住宅の U・B、洗面室の広さ)

1 帖 = 1.65 m<sup>2</sup> 量 1 枚分の広さ。  
一般的な住宅のトイレやクローゼットの広さ。畳のサイズは縦横、京間、マツヨシサイなどがありサイズが多岐にわたります。

1 尺 → 30.3cm (一寸の 10 倍)  
三 尺 → 90.9cm (約 91.0cm → 91.0mm)。一般的な間取りの住宅の寸法基準。910 モジュールと呼ばれる。

1 坪 ≈ 3.31 m<sup>2</sup> (畳 2 枚分)  
一般的な住宅の U・B (ユニットバス) や洗面室の広さ。

一寸 = 3.03cm (一尺の 1/10)。  
3.03cm × 10 = 30.3cm → 一尺

坪 × 0.3025  
坪数から m<sup>2</sup> を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 → 30.25 坪 × 0.3025 = 100 ㎡

## 電気記号

- コンセント記号の横の「E」はアース (Earth・接地線) を表しています。
- 壁に設置されている換気扇を表しています。居室には、換気設備を設置する必要があります。
- コンセント記号の横に「W」があるときは、防雨防水のコンセントになります。W は water の略文字。
- 壁についているコンセントの記号です。数字の「2」は差し込み口が 2 つあるコンセントのこと。
- インターホンのある外と、家中で応対するスイッチがある場所に設置記号。
- シーリングライトを設置できる場所の記号。天井に設置されている。
- 3 路スイッチとは、1 つの照明を 2 か所スイッチで ON/OFF できるスイッチのこと。
- この記号は、蛍光灯がある場所を表しています。天井に設置されています。
- 室内の壁にある吸気口の記号です。外からの空気が取り入れられます。
- 部屋の電気など、壁に付いているパチッと押すタイプのスイッチの記号。
- 電話に使うコンセントの場所を表しています。電話の室内配線の参考にする事ができます。
- テレビ用のコンセントの記号。テレビを見るために必要なコンセントです。
- 家のなかにある分電盤を表す記号です。各部屋へ電気を分配し、使用量や漏電の管理をします。
- エアコンを設置するときにも使用するコンセントの記号。壁の高い場所にあることが多い。
- 24 時間換気する吸気口を表す記号です。外気を室内に取り入れます。
- この記号ではブラケットライトのある場所を表しています。ブラケットライトとは、壁に取り付けられている照明のこと。
- 天井に設置されている換気扇のある場所を表しています。キッチンやお風呂場、トイレなどに設置されます。
- ダウンライトを表す記号。ダウンライトとは、天井に埋め込まれている小型の照明のこと。

## 部屋名・スペース名

- MBR
- BR
- SR(N)
- UB
- WIC
- SIC
- RBL
- RF
- PS
- LDK

ロフト、屋根裏部屋を表す。天井の高い部屋の中 2 階のようなスペース。

リビング (居間)、ダイニング (食卓)、キッチン (台所) の意味で、起居・食事室・台所が一体となった空間。

ユニットバス、あらかじめ工場で作っておき、それを現場で組み立てていくバスルームのこと。通常の浴室より施工が早い。

マスターベッドルーム。「主寝室」を表します。洋室のうち最も広いものが主寝室と呼ばれます。

ベッドルーム。「洋室」を表します。

パイプスペース。トイレ、キッチン、U・B、洗面室から流れる配管を収納するスペース。

ウォークインクローゼット。お風呂場や寝室に設けられ、人が歩けるほどの広さを確保した収納です。

サービスルーム (納戸)。採光基準を満たしていない部屋。居室として認められていない部屋。多目的ルーム、スパルーム、フリースペースなど。

部屋の真上にある階下の住戸の屋根部分を利用したバルコニーのこと。

シューズインクローゼット。玄関にある広い収納で、靴やスキー・ゴルフ用品なども収納できます。